

2017年（平成29年）4月5日

各 位

本店所在地 東京都千代田区麴町2丁目4番地

会 社 名 そーせいグループ株式会社

(コード番号 4565 東証マザーズ)

代 表 者 代表執行役社長 CEO ピーター・ベインズ

問い合わせ先 コーポレートコミュニケーション部 伴瀬晴美

電 話 番 号 03-5210-3290 (代表)

子会社Heptares社、AstraZeneca社から12百万米ドルのマイルストーンを受領

- ・ *新規アデノシンA2A受容体拮抗薬AZD4635 (HTL-1071)はアデノシンによるT細胞の機能抑制を解除し、抗腫瘍免疫を高める*
- ・ *このたびの前臨床試験の結果をAACR年次大会で発表*

当社は、子会社Heptares社（以下、「Heptares社」）がAstraZeneca社とのがん免疫療法領域での提携において、各種がんに対する新規候補治療薬であるAZD4635（HTL-1071）の開発で重要なマイルストーンを達成いたしましたので、お知らせいたします。この結果、Heptares社は本日、AstraZeneca社より12百万米ドルのマイルストーンを受領することになります。

AZD4635は経口投与可能で強力かつ選択性の高い低分子のアデノシンA2A受容体拮抗薬で、Heptares社が研究開発を行い、2015年にAstraZeneca社にライセンスを供与いたしました。

AZD4635がアデノシンによるT細胞の機能抑制を解除し、T細胞の抗腫瘍免疫性を高めることを明確に示した前臨床試験が成功したことを契機に、このたびマイルストーンが発生します。単剤で使用した場合や抗PD-L1チェックポイント阻害剤と併用した場合に、AZD4635によりA_{2A}シグナル伝達を遮断すると、腫瘍の増殖が低減することがわかりました。このたびの前臨床試験の結果については、American Association of Cancer Research（米国がん学会）年次大会（2017年4月1～5日；米国ワシントンDC）のポスターセッション（アブストラクト番号5580）でHeptares社とAstraZeneca社の科学者により本日発表の予定です。

AZD4635は、固形がん患者での単剤治療として、また、AstraZeneca社のdurvalumab（抗-PD-1L抗体）との併用治療として、第I相臨床試験を現在実施中です。

がん細胞は、免疫システムを回避するメカニズムを獲得するよう進化しており、これにはアデノシンと呼ばれている天然の抗炎症分子を産生することによる回避メカニズムも含まれます。ア

デノシンは免疫系のT細胞にあるA_{2A}受容体を刺激することで、T細胞の機能が活性化されるのを阻害し、T細胞のもつがん細胞を殺傷する能力を低下させます。そこで、A_{2A}受容体の働きを阻害することで、腫瘍内微小環境におけるT細胞の抗がん能力を高めることができます。

Heptares社ならびに当社チーフ・サイエンティフィック・オフィサーであるFiona Marshallは次のように述べています。

「このたびの前臨床試験の結果はとても胸が高鳴るもので、A_{2A}シグナル伝達を阻害することで、がん細胞が免疫システムから回避するのを防ぎ、チェックポイント阻害剤の作用を受けやすくするための魅力的なメカニズムであることを裏付けるものです。本年末頃に予定しているAZD4635の第I相臨床試験の結果を心待ちにしています。」

本売上は2018年3月期に計上されます。

<ご参考>

Heptares 社について

Heptares社は、広範囲のヒト疾患に関連する375個の受容体のスーパーファミリーであるGタンパク質共役受容体（GPCR）を標的とした創薬を行う医薬品開発企業です。同社独自の構造ベースドラッグデザイン技術を利用することにより、臨床的な有用性は証明されているものの、これまで創薬が困難であったGPCRを標的とした医薬品の創出が可能となります。このアプローチを使用して、同社はアルツハイマー病、統合失調症、がん免疫療法、片頭痛、依存症、代謝疾患等の治療法を革新する可能性を有する、画期的なパイプラインを構築しています。

Heptares社は新規開発候補品や技術提供について、既にAllergan社、AstraZeneca社、第一三共株式会社、Kymab社、MorphoSys社、Pfizer社、Teva社等をはじめとする大手製薬会社やバイオテクノロジー企業と提携しています。

Heptares社はそせいグループの100%子会社です。詳細については、www.heptares.comとwww.osei.comをご覧ください。

そせいグループ株式会社について

そせいグループはグローバルに医薬品開発に取り組む日本発のバイオ医薬品企業です。そせいグループのビジネスモデルの根幹にあるのは、新規・差別化可能な開発品および基盤技術の探索、それらの非臨床・臨床開発の支援、開発・販売提携等を通じて世界中の患者さんに新たな医薬品を届けることです。

詳細については、www.osei.com をご覧ください。